学校規模適正化について教育長の考えは

髙松　幸雄議員

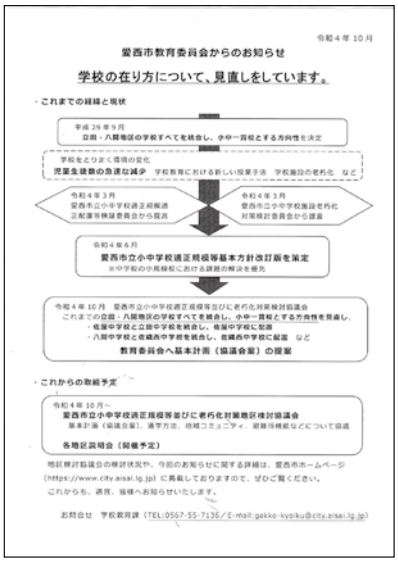
新たな学校づくりを支援していきたい

教育長

問　愛西市では、立田・八開地区の学校を全て統合し、小中一貫校にするという案があったが、実現に至らなかった。その後、愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会から提出のあった基本計画案の概要は。

答　将来像として、中学校は本市の南部と北部に1校ずつとするが、一度に統合すると過大規模校や大規模校となってしまうので、段階的に佐屋中学校と立田中学校を統合して佐屋中学校に配置。八開中学校と佐織西中学校を統合して佐織西中学校に配置する。その後、永和中学校や佐織中学校は生徒数の推移を注視して統合する。

小学校は、学校ごとに適正規模に向けた手法や老朽化対策の時期・手法について対策をまとめている。



令和4年10月

愛西市教育委員会からのお知らせ

学校の在り方について、見直しをしています。

・これまでの経緯と現状

平成29年9月
立田・八開地区の学校すべてを統合し、小中一貫校とする方向性を決定

学校をとりまく環境の変化
児童生徒数の急速な減少　学校教育における新しい授業手法　学校施設の老朽化　など

令和4年3月
愛西市立小中学校適正規模等適正配置等検討委員会から提言

令和4年3月
愛西市立小中学校施設老朽化対策検討委員会から提言

令和4年6月
愛西市立小中学校適正規模等基本方針改訂版を策定
※中学校の小規模校における課題の解決を優先

令和4年10月　愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会
これまでの立田・八開地区の学校すべてを統合し、小中一貫校とする方向性を見直し、
・佐屋中学校と立田中学校を統合し、佐屋中学校に配置
・八開中学校と佐織西中学校を統合し、佐織西中学校に配置　など
教育委員会へ基本計画（協議会案）の提案

・これからの取組予定

令和4年10月～
愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策地区検討協議会
基本計画（協議会案）、通学方法、地域コミュニティ、避難所機能などについて協議

各地区説明会（開催予定）

地区検討協議会の検討状況や、今回のお知らせに関する詳細は、愛西市ホームページ（https://www.city.aisai.lg.jp）に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。
これからも、適宜、皆様へお知らせいたします。

お問合せ　学校教育課（TEL:0567-55-7136／E-mail:gakko-kyoiku@city.aisai.lg.jp）

▲愛西市教育委員会から配布されたお知らせ文書

問　現在、各地区の検討協議会では、どのような内容を議論し、いつまでに行う予定か。

答　中学校は、統廃合後の通学時間・距離の確認及び通学方法の検討、学区再編成の必要性について。小学校は、全学年1学級の小規模校における適正規模の検討や中学校の統廃合に伴う小学校への影響のほか、小・中学校とも老朽化対策の時期と手法の妥当性、その他、疑問点や問題点、課題となる事項と解決策や地域コミュニティや避難所等の機能確保、統廃合の跡地利用などについて。

今年中に各地区の議論をまとめたいと考えているが、議論の状況によっては期間を延長することも考えられる。

問　今後の学校規模適正化の取り組みに対する教育長の思いは。

答　1学年は複数クラスが望ましい。同じ1クラスでも、30人規模のクラスと10人規模のクラスでは学習効果に開きが出る。今後加速する少子化に加え、近隣の中高一貫教育の導入で、さらに本市の中学生の減少が予測される。子どもたちの学びや成長を阻害する対策を講じておくことは重要だ。中学校の統合による不安感や通学等の課題はあるが、新たな学校づくりを全面的に支援していきたい。